

社会インフラの維持・向上を確保する
保守現場へのデジタルの技術導入で
持続可能な社会の実現と収益性の両立に貢献

社会インフラ業界向け保守デジタル化コンサルティング

私たちの暮らしを支える日本の社会インフラは、今後20年間で建設後50年を経過する施設が加速度的に増加するとされています。これに生産労働人口の減少、保守コスト削減へのニーズの高まりなどが加わり、社会インフラに関わる事業者のビジネス環境が厳しさを増すことが予想されています。しかしながら、社会インフラを確実に稼働させ続けるためには、保守品質の確保が重要です。人手やコストを削減しながら、いかに保守品質の維持・向上に努めるか—この大きな課題を解決する手段の一つがデジタル技術の活用です。

日立コンサルティングは、日立グループが長年培ってきた技術やノウハウを活用し、さまざまな業種・業態のお客さまに社会インフラの保守業務改革の支援をしてきました。これらのナレッジを生かし、社会インフラ事業およびその保守事業に携わる皆さまに、デジタル技術の活用でコスト低減と品質維持・向上の両立が可能な新たな保守業務を提案します。



コスト削減と品質維持・向上の両立に向けたランドデザインを策定

社会インフラに求められる安全性と、事業に求められる収益性のバランスを重視したデジタル化構想策定に向けて、お客さまの課題・目的を明確化。コスト削減と品質維持・向上の両面から確実に成果を見込めるランドデザインを、お客さまとともに描きます。



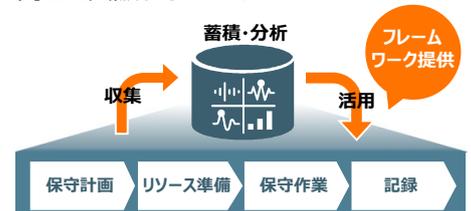
豊富なノウハウの活用で、スピーディで実効性の高い計画立案

私たち日立コンサルティングでは、社会インフラの分野で100年以上の実績を有する日立グループの一員として、多くの製造業・物流業のお客さまに保守業務改革を提供してきました。ここで培った豊富なナレッジと先進事例を活用することで、実効性の高い計画をスピーディに立案します。



フレームワーク化した保守業務のデジタル化手法を提供

さまざまなお客さまの業務改革、DXへの取り組みも支援してきた当社は、これを多くの保守業務のデジタル化プロジェクトにも活用。その支援実績から導出した「保守デジタル化構想策定手法」を、フレームワークとして提供することで、効率的なサービス品質の向上に貢献していきます。

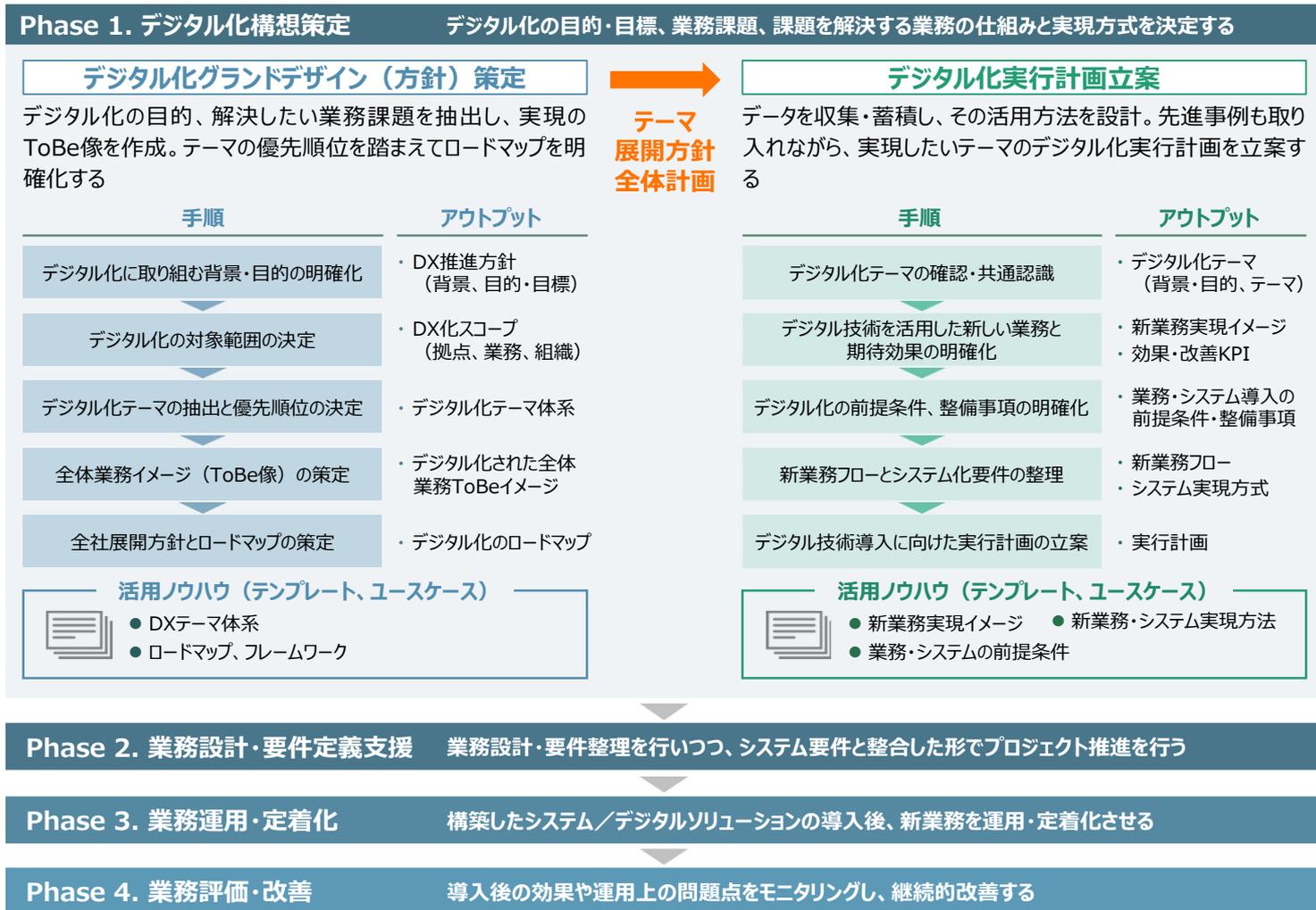


社会インフラを担う事業者さま、および保守事業者さまの課題を解決します。

- ✓ 社会インフラを担う事業者として、保守品質は落とせないが、コストは削減したい
- ✓ 保守人員の不足や老朽化設備の増加で、将来的な保守品質の維持・向上に懸念がある
- ✓ 蓄積した設備の稼働データを活用できていない

全体アプローチ

大きく4つのフェーズでデジタル化を推進しますが、特に目的・目標を定め、推進の方向付けをする構想策定フェーズが重要です。



サービスメニュー

社会インフラ事業における保守業務のバリューチェーン全体をカバーする業務改革サービスを用意しています。実績のある“ユースケース”を活用した施策立案から、保守現場全体を捉えたデジタル化構想策定まで柔軟に対応可能です。

ラインアップ		対応領域			
		保守計画立案	リソース準備	保守作業実施	記録
保守デジタル化構想策定支援	・取り組み背景、目的、テーマの明確化 ・ToBeイメージ、実行計画の策定	←			→
保守現場のリードタイム短縮	・サービス売り上げ向上 ・整備費用削減	←			→
CBM*の実現による保守の高度化	・保守費用削減 ・サービス品質向上	←	→		
要因配置の最適化と業務効率化	・保全作業効率向上 ・間接業務削減		←	→	

*CBM: Condition Based Maintenance

●サービスの仕様は、改良のため変更することがあります。ご不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。 ●詳細な見積条件などはwebサイトから、または弊社担当営業へお問い合わせください。

株式会社 日立コンサルティング

〒102-0083 東京都千代田区麹町2-4-1 麹町大通りビル11F 電話番号(代表) : 03-6779-5500
<https://www.hitachiconsulting.co.jp/>